

平成 31 年（2019 年）4 月 15 日
熊本県交通政策課

阿蘇くまもと空港特定運営事業等の
提案概要公表に係る知事コメント

- 優れた耐震性を持つ国内線と国際線が一体となった新ターミナルビルとなり、旅客数は、国内線の増加に加え、インバウンド客を 10 倍以上に伸ばす目標で、合計すると現在の 334 万人から 622 万人に増加させる提案となっています。
まさに、熊本地震からの創造的復興のシンボルとして、ふさわしい内容ではないかと思えます。
- さらに、県では長年の課題であった空港アクセス鉄道の整備に向けた検討を進めています。このアクセス鉄道により、空港までの定時性、速達性、大量輸送性が確保されるとともに、生まれ変わる空港と熊本駅、中心市街地、八代港という本県経済の核となる拠点がつながり、県内各地や九州一円にまたがるネットワークが構築されます。
- 県としては、この阿蘇くまもと空港を創造的復興の起爆剤として、県民の利便性向上はもとより、交流人口やビジネスの拡大による県経済の更なる活性化につなげて参ります。

交通政策課：原田、村上
直通 096-333-2168
内線 3564、3562